

第11回 金沢大学高大接続ラウンドテーブル

大学生と振り返る探究活動

-探究を探究する-

ラウンドテーブルは、参加者の高校生や大学生がテーマについてディスカッションする中で、さらに学びを深めていくプログラムです。

この1年間取り組んできた探究学習の成果を参加者同士で発表・共有し、次の学びへと繋がるように「探究」してみませんか？

「探究を探究する」をテーマに、高校生、大学生、教員など、異なる立場の参加者みんなで学びを共有し、様々な意見に触れ、考えを深め合いましょ。

主催：金沢大学高大接続コア・センター
問合せ先：金沢大学高大接続コア・センター
E-mail: kugspro@adm.kanazawa-u.ac.jp

日時：令和7年3月15日(土) 午前の部 10:00-12:00
※申込締切：令和7年3月7日(金)17:00 午後の部 13:00-15:00

ラウンドテーブルのことが
もっと知りたい人はこちら↓

場所：金沢大学 人間社会第1講義棟 202講義室

開催方法：対面とオンラインのハイブリッド(参加費 無料)

※オンライン参加の場合、スマートフォンではなく、パソコンによる参加を推奨します。

定員：対面25名、オンライン5名(午前・午後それぞれ)



プログラム(予定)

- ◆ 高校生の探究学習報告
 - ・ 各自の探究学習の成果を5～10分程度で報告。
 - ・ 発表で使用する資料は事前にお送りください。(資料の送付先等は右記「高大接続ラウンドテーブル特設サイト」に掲載予定です。)

- ◆ グループディスカッション
 - ・ 「探究を探究する」をテーマに、自分の探究学習の振り返りと、他の参加者の報告を踏まえて、次の「探究」につながるように参加者みんなで学びを深めましょう。
- ※ 午前と午後の2回開催。内容はどちらも同じです。

詳細は、「高大接続ラウンドテーブル特設サイト」をご覧ください。こちらのQRコードからアクセスできます。

※参加申込方法や発表資料の送付先等の掲載は、令和7年1月ごろを予定。



アクセス

北鉄バス「金沢大学」バス停で下車してください。



会場こちら

第3回 ミライシコウ金沢 と同時開催

「ミライシコウ金沢」は、高校生の探究活動発表の場です。高大接続ラウンドテーブル参加者は、「ミライシコウ金沢」の見学も可能です。詳細は右記QRコードに令和7年1月ごろ掲載予定。

※ミライシコウ金沢での発表を希望される場合は、金沢大学附属高校へお問い合わせください。

主催：金沢大学
共催：国連大学サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット
主管：金沢大学附属高等学校



高大接続ラウンドテーブルとは

—第10回高大接続ラウンドテーブル（2023.3.26）実施報告—

高大接続ラウンドテーブルはKUGS高大接続プログラムの一つで、参加者の高校生や大学生がテーマについてディスカッションする中で、さらに学びを深めていくプログラムです。

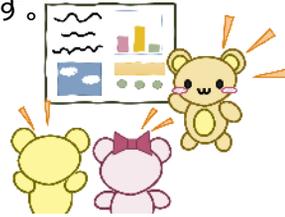
前半：高校生の探究学習発表

グループに分かれて自分が取り組んだ探究学習を発表します。それに対して、同じグループの高校生や大学生ファシリテーターが感想や質問などを行います。

↓ 高校生による発表



↑ 全体の様子。高校教員や保護者も見学



高校生の発表テーマ（一部）

ファストファッション、古墳の内部構造解明、メタン発酵によるビジネスモデル、AIの問題点、金属腐食、五箇山、研修医、マーケティング…など

後半：グループディスカッション

前半の発表やこの間の探究学習の経験を踏まえ、「探究学習とは何か」「これからの探究学習がどうなってほしいか」をテーマにグループで話し合います。大学生が自分の経験や大学での取り組みについて紹介する場面も。



← ディスカッションのテーマについて説明



↑
← グループごとに、自分自身の経験や前半の発表を聞いて考えたことを意見交換

クロージングセッション

「探究学習とは何か」「これからの探究学習がどうなってほしいか」というテーマについてグループでまとめた意見を参加者全員で共有します。

参加者から「課題発見や物事を違う目線で見ると、探究学習でないと身につかない」「身近な疑問から社会に役立つ研究を行うことが、よりよい探究学習の環境につながる」「改善点や新しい気付きを見つけるには、今回のような交流の場が重要」などの意見が出されました。



← グループ内で出た意見をまとめて、参加者全体に報告・共有

参加者みんなで記念撮影→



◆参加者の感想(抜粋)◆

●全国の同年代の人の話を聞いて、いい刺激になった。今日考えたことを今後につなげていきたいし、実際に金大生からお話しも聞いてより意識が上がった。 ●それぞれの探究について興味湧いて、自分でも調べてみたいと思いました。 ●それぞれの発表から得られた、探究活動の意義や今後の展開について知ることができ、高校に持ち帰ってそれらを導入できればいいと思います。 ●自分の探究していない分野について話を聞くことができたのでとてもよい経験になった。 ●県外の高校生と探究について話すことなんてないので、とても有意義な時間になった。自分が感じている探究についての疑問を同じように持っている人がいて話し合いが面白かった。 ●自分が完璧だと思っていたものを壊してもらえる機会に恵まれたと思っています。今まで校内での発表しかしていなかったので、今回のように様々な学校の様々な人からの意見をもらえ、自分たちの意見を再構築するきっかけになりました。